

北海道 カレーサミット開催

道内のご当地カレーが集結！



9月2日(日)道の駅横特設会場にて「北海道カレーサミット」・富良野美瑛カレー街道フェスタ2012 in 南富良野」主催。北海道カレーサミット・富良野美瑛カレー街道フェスタ・南富良野実行委員会が開催されました。

会場には富良野オムカレーや苦小牧ホッキカレーなど11店が出店し、一皿(ハーフサイズ)500円で各ご当地カレーが販売されました。当日、気温が29度を超える暑さでしたが、提供開始前から各ブースに行列ができ、北海道内の農畜水産物を生かしたご当地カレーを味わい、食べ比べていました。ステージでは、「カレー大早食い選手権大会」や地元南富良野のアマチュアバンドによる「野外ライブ in 南富良野」などのイベントが行われ、大変盛り上がりがあった一日となりました。終了前に売り切れるブースが多数あり、今回全体で3,660食の販売があり、今年で5回目となる本サミットで過去最大の販売数となりました。



国際交流のかけはし

8月24日から31日までの8日間、町国際交流協議会(川村勝彦会長)が主催する『第13回南富良野からの国際交流のかけはし』が行われ、国内の大学などに在籍する2カ国4名の留学生を招き、会員4世帯にホームステイしながら、南富良野の生活や文化に触れ、町民の皆さんとの交流も深めました。

- セン レイさん
国籍：中国
ホストファミリー：長谷川英夫 宅(下金山)
- リ コクイさん
国籍：台湾
ホストファミリー：岩永廣一郎 宅(北落合)
- リュウ キリュウさん
国籍：中国
ホストファミリー：安西英紀 宅(幾寅)
- テイ ウンカンさん
国籍：台湾
ホストファミリー：目黒義重 宅(落合)

24日に来町した留学生は、情報プラザで行われた来賓や町民が参加しての「ウェルカム町民国際交流パーティー」にホストファミリーと共に参加し、一人ずつ日本語で自己紹介や参加した抱負などを述べたほか、出席した皆さんと会話をしたり、ビンゴゲームなどで交流を深めました。留学生はホームステイでの交流を主体に過ごしながらかヌーやラフティング、農業体験を行ったほか、地域の小学校を訪問しました。学校では、元気な児童の歓迎を受け、交流集会などではそれぞれの母国での生活の様子などを児童にお話しをしたり、レクリエーションなどで楽しい交流をしました。見送り式では名残惜しく涙ぐむ場面もありましたが、お世話になった家族に、お礼とお別れの挨拶を述べ、南富良野を後にしました。

学校訪問の様子



下金山小～センレイさん



北落合小～リコクイさん



幾寅小～リュウキリュウさん



落合小～テイウンカンさん

「フオレストタウン記念植樹祭」

結婚やお子さんの誕生を記念して

9月9日、「フオレストタウン記念植樹祭」が、かなやま湖畔で行われました。

この事業は、今年で12回目を迎え、結婚やお子さんの誕生など、記念すべき事柄があったご家族に参加を呼び掛けて、町民参加の森づくりを目的に平成13年から行っています。

現在までにエゾヤマザクラやヤマモミジ、イチヨウなどの苗木179本が植樹されています。植樹祭には、昨年8月から今年7月までに結婚された方2組と、お子さんが誕生された10世帯の合わせて38名が参加しました。

今年は、あいにく小雨の降る中での植樹となりましたが、皆さんは、名前と記念日が書かれたプレートが建てられている場所に、約2・5メートルほどの



ナナカマドの苗木を丁寧に植樹しました。引き続き、来賓による植樹が行われた後、参加した皆さんには、木製の額に入った記念証が池部町長から贈呈されました。最後に全員で記念撮影を行いました。わが子の成長と共に、今後の苗木の成長を楽しみにしながら笑顔で会場を後にしました。

水源の森 創造交流会

9月9日、かなやま湖畔のアオダモの森で、滝川市のボランティアグループ『緑とエコ』サポーターネットワークの皆さん27名をはじめ、本町の『レディース100年の森・林業グループ』の皆さんなどで、アオダモやシラカバなど3種類の苗木合わせて50本が植樹されました。

今年で10回目となる「緑とエコ」サポーターネットワーク水源の森創造交流会は、空知川の最上流部に位置する本町と空知川を水道水源として利用している下流域の滝川市が共通の認識を持ち、一体となって水源の確保を維持することを目的として平成15年から毎年開催されているもので、空知川の上下流域が一体となった「水源の森」づくりが進められています。



宝くじ助成金で「煙発生器」を整備

住民の行うコミュニケーション活動を推進し、その健全な発展を図るとともに宝くじの社会貢献広報に資するため財団法人自治総合センターのコミュニケーション助成事業により、

婦人防火クラブに「煙発生器」が整備されました。

婦人防火クラブは全会員数61名で、毎年住宅用火災警報器の設置広報指導などを続けており、今回の機器整備により地域住民に対する防災・災害予防の普及啓発に寄与しようとするものです。富良野消防署南富良野支署が管理保管し、福祉施設や学校での避難訓練などにも貸し出されます。

